

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度	令和6年度
------	-------

1 基本情報

公の施設名	相模原市立市民健康文化センター
指定管理者名	市民健康文化センター運営共同企業体（静岡ビル保善株式会社、コナミスポーツ株式会社）
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
施設設置条例	相模原市立市民健康文化センター条例
施設の設置目的	市民の健康保持及び増進並びに文化及び福祉の向上に寄与するため （相模原市立市民健康文化センター条例第2条）
施設概要	・所在地 南区麻溝台1872-1 ・敷地面積 7,987.76㎡ ・建物面積 4,080.63㎡ ・延床面積 6191.22㎡ ・構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨（地下1階 地上2階） 1階 プール、浴室、多目的広場、多目的会議室1、カフェ 2階 多目的会議室2、茶室、講習室1・2・3、工作室（陶芸窯）、展示コーナー
施設所管課	市民局 市民協働推進課

2 管理実績

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
利用者数合計（人）	205,863	223,696	223,274				
利用料金合計（円）	41,145,825	45,016,418	36,025,160				

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
C	2指標の平均達成度は目標値の85.5%となるためC評価とする。 【指標1：プールの利用人数】 達成度は86.3%と目標値を下回ったが、令和5年10月の市内在住・在学の子ども料金の無料化により、子どもの利用者数が増加している。また、プールギャラリーの緊急ベルの設置や楽天シニアなどで新たな客層の誘引や、リピーターを増やすための利用促進策に取り組んでいる点は評価できる。引き続き、利用者数の向上に向けて検証をお願いしたい。 【指標2：自主事業の参加人数】 前年度と比較して大きく目標値を下回ってしまったが、ホームページにソーシャルメディア機能を付加し、大会・イベント・自主事業等の情報などの新鮮で有益な情報をリアルタイムで発信を行うなど、以前とは異なるアプローチで参加者を増やそうとする取組はあるが、まだ受け皿としてのコンテンツが少ないため、引き続き利用者のニーズを適格に捉え、参加人数を増加させる取組をするよう期待する。

指標1	
指標名（単位）	プールの利用者数（人）
指標式と指標の説明	市民健康文化センターでプールは中心的な施設であり、施設の設置目的である、市民の健康の保持及び増進を達成させるため、成果指標とする。

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（人）	134,000	135,000	110,000				
実績値（人）	87,070	97,149	94,903				
達成度（%）	65.0%	72.0%	86.3%				

指標2	
指標名（単位）	自主事業の参加人数（人）
指標式と指標の説明	市民健康文化センター全体の諸施設を活用し、設置目的を達成させるため、自主事業参加人数を成果指標とする。

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（人）	26,500	26,500	36,000				
実績値（人）	32,806	35,430	30,491				
達成度（%）	123.8%	133.7%	84.7%				

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	【健康増進のための空間づくりの事業】⇒○ 参加予定人数が設定されていない事業については、年度評価シートの作成要領等に基づき100%評価とした。これは令和6年度から新規指定管理者として事業を開始したため、前年度の実績等がわからず、参加予定人数が把握できなかったためと思われる。今後は令和6年度からの実績に基づき参加予定人数を設定し、利用者の新規獲得と定着、収入の確保などを目指し、事業の充実を図ってほしい。 【文化の醸成・創造活動へのサポートの事業】⇒○ 参加予定人数が設定されていない事業については、年度評価シートの作成要領等に基づき100%評価とした。これは令和6年度から新規指定管理者として事業を開始したため、前年度の実績等がわからず、参加予定人数が把握できなかったためと思われる。今後は令和6年度からの実績に基づき参加予定人数を設定し、利用者の新規獲得と定着、収入の確保などを目指し、事業の充実を図ってほしい。 【地域の魅力・ふれあいづくりへの貢献の事業】⇒○ 参加予定人数が設定されていない事業については、年度評価シートの作成要領等に基づき100%評価とした。これは令和6年度から新規指定管理者として事業を開始したため、前年度の実績等がわからず、参加予定人数が把握できなかったためと思われる。今後は令和6年度からの実績に基づき参加予定人数を設定し、利用者の新規獲得と定着、収入の確保などを目指し、事業の充実を図ってほしい。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
健康増進のための空間づくりの事業	4月～3月	プール教室や体操教室等の事業（23事業）	○
文化の醸成・創造活動へのサポートの事業	4月～3月	指定管理者による絵手紙教室やタウンニュースによる市内団体や講師と連携した事業（11事業）	○
地域の魅力・ふれあいづくりへの貢献の事業	4月～3月	室内外を活用した大規模イベントやマルシェ等の事業（6事業）	○

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	新しい指定管理者に変更となって1年目であるが前年度と比較して利用者満足度は1.3%増加しており、評価方法が異なり前年度と比較はできないが、利用者のニーズに沿った運営がされたと評価できる。また、多くの利用者からアンケートを回答してもらえよう、アンケート記入台の設置や教室講師から手渡しをするなどの工夫も見られた。今後もニーズの確かな把握に努め、調査結果を踏まえて新規事業を展開するなど、今後のより良い施設運営に期待したい。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査
目標値の基準	利用者満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の合計の割合

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（%）	90.0	90.0	90.0				
実績値（%）	89.0	94.3	95.5				
達成度（%）	98.9%	104.8%	106.1%				

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
意見箱の設置	通年	館内に意見箱を設置し、センターに関するご意見を受け付けた。回答希望があるものについては、意見箱付近に回答を掲示した。
教室アンケートの実施	事業開催時	一部参加教室に関するアンケートを実施。教室終了時に回収。

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	本体事業収支は赤字だが、全体収支は黒字となっており、また、構成団体2社とも経営状況は良好であるためA評価とする。

施設の収支概要		※直近3年間について記載			(千円)
項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
収入（a）		196,153	201,076	216,100	
指定管理料		147,808	144,982	163,934	
利用料金収入		41,145	47,237	37,512	
その他の収入		7,200	8,857	14,654	
支出（b）		239,934	239,487	225,412	
人件費		105,987	107,027	91,518	
本社管理経費		8,879	8,609	7,446	
その他の支出		125,068	123,851	126,448	
本体事業収支【(a)-(b)】(c)		-43,781	-38,411	-9,312	
自主事業収入（d）		23,268	26,787	25,020	
自主事業支出（e）		5,775	5,840	15,027	
自主事業収支【(d)-(e)】(f)		17,493	20,947	9,993	
全体収支【(c)+(f)】		-26,288	-17,464	681	
備考					

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施	
実施時期	令和6年8月	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	○
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	

9 指定管理者の自己評価

指定管理の初年度の運営であったが、利用者数合計は223,274人で昨年度と同水準で推移した。

成果指標のひとつであるプール利用者数は目標に対し86.3%、自主事業の参加人数については目標の84.7%となった。これらの結果を踏まえ、市民への情報発信の工夫や、より幅広いニーズへの対応を今後の課題として捉え、広報の手法や媒体の見直し、市民の声をより丁寧に拾い上げる仕組みの構築などを通じて、利用促進と参加率の向上に努める。

貸室の利用においては、地域のニーズに応じた柔軟な対応を心がけ、ダンスや楽器演奏、コスプレといった幅広い用途での利用が増えている。一方、平日昼間や夜間の稼働率にはまだ改善の余地があり、今後は更なる広報活動や利用促進策を検討し、より多くの方にご利用いただける環境づくりに努めていきたい。

また、本年度より楽天シニアや携帯充電サービスの開始により、多様な理由で来館される方が増加した。こうした新しいサービスの導入により、来館者のニーズに幅広く応えられている。今後は、これらのサービスを利用して来館された方々がさらに施設の他のサービスや利用につながるよう、案内やサポート体制の充実を図り、施設全体の利用促進に努めたい。

引き続き指定管理者として、市民の皆さまに安心してご利用いただける施設運営を心がけるとともに、利用者満足度調査や意見箱の設置により利用者ニーズの把握に努め、一層の利用者満足度向上を目指す。

10 所管課意見

・プール利用者や自主事業の参加人数は目標値には届かなかったものの、新規指定管理者として業務開始1年目にも関わらず、利用者満足度調査はA判定となっているのは、様々なニーズを捉えながら運営できたものと評価できる。今後もリピーターの増加と新規利用者の獲得に向けて、効果的な事業実施をお願いしたい。

・また、キャンセル待ちになるほど好調であった「こども水泳教室」の実施や、個別利用できることが強みである「卓球台」の新規設置などにより、利用者の利便性を高めたことも評価できる。

・成果指標の達成度は不十分であるものの、高い利用者満足度を維持していることは、施設の設置目的や利用者の期待に沿って適切に運営ができているものと考えられる。今後は事業計画と実績の比較や満足度調査の結果などを通じて改善点を見出し、さらなる施設の活性化に向けて取り組んでもらいたい。

11 選考委員会意見

事業計画書や満足度調査などについて、目的と結果を受けてPDCAサイクルを回し、次への展開を考えて市民のためのより良い事業にしてもらいたい。また、提案説明会の際に実施したい取組が多く挙げられていたため、集客や広報だけでなく本業であるコンテンツそのものの充実を図り、皆さまの色を出してってもらいたい。市には、「4 事業の実施状況」について今後の評価方法の改善を求める。

総合評価（自動判定）

B

(65/100)

